

横浜地区連絡協議会 「道路調査」(第1日目)レポート

【実施者の感想】

横浜地区連第2回幹事会にて各単組から提出された「地域交通改善要求書」を基に16か所の調査を2日間(2回に分けて)で行なうことを確認し、第1日目は2024年2月27日(火)に9か所の調査を実施した。

実施者については田巻重雄(ヤマト運輸労組湘南支部)・郷家英樹(全日通労組)・中野一徳(全日通労組)の3名にて行った。

JR 東戸塚西口に集合し、東戸塚駅付近の跨線橋周辺の調査から開始をし、戸塚区、瀬谷区、旭区、青葉区、鶴見区、西区と広範囲な調査場所を予定したが、道路渋滞もほとんどなく、移動は順調であり各対象場所をしっかりと確認することができた。

9:30から15:30まで現地調査を行った後、15:40からかながわ県民センター会議室にて調査結果のとりまとめを行なった。本日、9か所を確認して特に感じたことは、路面標示(停止線・一時停止・横断歩道手前の◇マーク等)が薄くなっていたり、消えてしまっている場所がいくつもあったことだった。車両側にも歩行者側にも危険が及ぶ状態は、早急に改善されるよう要請していく必要があると考えた。最終的な調査結果と取扱いについては、3/6に実施予定の第2日目の結果と合わせ、第3回幹事会にて報告し、決定することとして、16:50に第1日目の道路調査を終了とした。

全日通労組 中野 一徳

2024年2月27日

横浜地区連として幹事会内で意見が出た改善要望箇所を現地にて実態調査を行いました。東戸塚にて集合し、合計9ヶ所に実際に車両を使用したり歩いてみたりしながら改善箇所・要望箇所の確認をしました。

実際に現地に行ってみると写真や説明文では見えないことやわからないことがありました。

やはり、実際にドライバー目線で現地を見ることは大切だと感じました。この後は実際に撮影した写真や自分達の目で確認した内容を精査してしっかりと該当部署に提言していきたいと思います。

ヤマト運輸労働組合 湘南支部 田巻 重雄

2月27日(火)横浜地区連の道路調査に参加いたしました。

当日は快晴ではあったものの風が強く、寒い中での活動になりました。

今回初めて参加した道路調査でしたが、調査内容であった標示や標識等の状況確認、また

歩行者を伴う危険箇所等、多岐に渡る場所をドライバー目線にたった中で確認しました。その後、神奈川県民センターにおいて改善要求として提出するか否かを検証し、判断に迷う部分もありましたが、道路を使用して働く仲間の声を少しでも行政等に反映していく事、今後も一つ一つ地道な活動を継続していく事の必要性を改めて感じました。ありがとうございました。

全日通労組 郷家 英樹

【事例の一部】



←戸塚区品濃町
停止線・一時停止が消えている

瀬谷区宮沢
横断歩道手前の◇マークが薄
くなっている→



←西区南幸
バス・タクシー専用車線の
表示が消えている
先の左折禁止表示がわかりづらい

以 上